

# 組 拡 ニ ュ ー ス

第10号 H26. 9. 20

日本ボーイスカウト福岡県連盟  
組織拡充委員会



## 63ヶ団の知恵

### 8. 24 アクション プラン

団の状況や地区も異なるグループを作り

全員が、質疑応答・討議の中で

これなら「我団でもやれる ・ 効果が期待できる」プランを 持ち帰りました。

「スカウトを増員し、一人でも多くの青少年にスカウト運動を提供する」

日本連盟中期目標に基づき25年度は 「青少年100人に0.49人に対し0.34人」でした。

26年度目標は 0.53人です。

効外増員の対象はBVSとCSです。福岡県の小学1年生～5年生は、日連目標数を、クリアしています。〔227,736人〕

**動き始めましたか 12月の進捗状況報告会に向けて！！**

組織拡充委員長 平田珠子

## 追加登録状況(26年8月末)

地区	BV		CS		BS		VS		RS		スカウト計	指導者計	団委員計	スカウトクラブ	総合計
	S	L	S	L	S	L	S	L	S	L					
北東	30	23	59	38	89	31	36	15	36	11	250	118	100	0	468
北西	35	30	98	44	93	43	44	19	35	9	305	145	91	12	553
福東	33	24	82	62	102	45	64	30	49	6	330	167	87	29	613
福中	12	9	33	23	67	21	24	12	59	11	195	76	76	10	357
福西	41	24	77	33	105	23	46	16	56	8	325	104	100	6	535
福南	54	30	150	72	102	44	45	16	55	19	406	181	115	20	722
合計	205	140	499	272	558	207	259	108	290	64	1,811	791	569	77	3,253
26年初期	181	135	464	269	550	208	258	108	291	64	1,744	784	567	75	3,175
増減	24	5	35	3	8	-1	1	0	-1	0	67	7	2	2	78

## ～組拡のヒト・アイデア・意見～

### 8. 24 組織拡充研究会

#### 研究会の目標と進め方

\*自団のアクションプランを作成し実施・展開する。

県63ヶ団をシャッフルしグループ作業（全員が質疑・応答・討議に参画）

研究① 現状把握（各団の登録推移—過去10年 自団推移表・グラフのみ配布）  
（県連推移表・グラフはP・P で示す）

グラフの上昇・下降時 ここで何があったか 改善策として何を  
したか 現状までをしっかりと確認する

研究② 我が団の取り組みについて 事例発表

中途退団0への闘い スカウティングにおける成人の役務を考え ｽｶウトの為  
に団委員長はこう動くのだ 保護者とのコミュニケーション第一 ｽｶウトが  
増えテントサイトが足りないと 隊指導者からの意見・・・新たにキャンプ場を  
・・・この行動力にも質問、意見、 あいづち しきり  
会場全体から 良いヒト・アイデアを得られた ありがとうが感じ取れた。

研究③ 自団での取り組みについて考える（グループ討議）

研究①②で得たものを自団の現状につなげ、グループ仲間の知恵も借りながら  
進める

研究④ アクションプラン作成（個人作業）

委員会で準備した26年度組織拡充計画書（目標管理計画書）に記入  
グループ内で発表

全体でグループ毎の発表 質疑 応答

研究⑤ ゲーム（体験入団会でのゲーム実技修得）

BVS, CS年代向けゲーム お土産あり

8. 24研究会は63ヶ団参加対象で計画しました。全団への案内を  
徹底するため 地区委員長にお手数をおかけしました。参加団の皆様からは  
中間報告会はもちろん このような機会をもってほしい。とのお言葉も  
いただき、委員会としても次へ向けて動きはじめています。

## ～委員会だより～

### 26年度県組織拡充委員紹介

伊藤一郎さん（北九州—55団）、小田房江さん（北九州—1団）、河津好宏さん（福岡—37）  
行武敦さん（宗像—2団）、坂本俊和さん（福岡—27団）、辻浩一さん（久留米—10）  
HP担当・・・蓮井栄二さん（福岡—35団）

中間報告会・・・成果・反省点・見直点など多くの報告、意見を交わしましょう。

開催日程は地区の状況を見ながら12月中旬又は新年初集会を予定。